

## 平成30年度「第2回ケアラーサポーター育成研修」開催報告

地域に学び、地域で支える ～ケアラー（家族を介護する人）を孤立させないために～

【日時】平成30年7月18日（水）16：30～18：30

【場所】長崎大学文教キャンパス  
グローバル教育・学生支援棟3階G-3A教室

【講師】長崎市西浦上・三川地域包括支援センター

福田 一子 氏（管理者）

朝長 優子 氏

（認知症地域支援推進員/社会福祉士）

【内容】認知症サポーター養成講座

平成30年7月18日（水）、長崎大学文教キャンパス  
グローバル教育・学生支援棟3階G-3A教室にて、「第2回ケアラーサポーター育成研修」を開催いたしました。  
当日は学内外から89名の参加がありました。

平成30年度 第2回ケアラーサポーター育成研修

長崎大学

平成30年  
7月18日（水）  
16：30～18：30  
（開場/16：00）

長崎大学文教キャンパス  
グローバル教育・学生支援棟  
3階G-3A教室

認知症サポーター養成講座

一般（地域）の方  
長崎大学学生・教職員

講師  
長崎市西浦上・三川地域包括支援センター  
福田 一子 氏（管理者）  
朝長 優子 氏（認知症地域支援推進員/  
社会福祉士）

参加費無料  
※事前にお申込みください

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支える社会構築（認知症サポーター）を一人でも多く増やし、認知症になってもだれもが安心して暮らすまちを創出して認知症サポーター養成講座を実施しています。受講料にはオンラインリングを差し上げます。

地域に学び、地域で支える  
～ケアラーを孤立させないために～

お申込みは願書をご覧ください。  
電話またはメール、FAXでお申込みください。FAXでのお申込みには、事前の参加申込書をご用意ください。申込書は、長崎大学グローバル教育センターで配布します。

主催  
長崎県、長崎市、長崎県医師会、長崎県看護協会、長崎県社会福祉協議会、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県介護支援専門員協議会、長崎県地域包括支援センター連絡協議会

【お問い合わせ先】  
長崎大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター  
TEL：095-819-2179（伊藤） FAX：095-819-2159  
MAIL：omaya\_working@nt.nagasaki-u.ac.jp http://www.csl.nagasaki-u.ac.jp

【挨拶】ダイバーシティ推進センター長 伊東昌子

挨拶の中で、ダイバーシティ推進センターは、仕事と介護の両立、地域の方と共に介護について学び、介護している人たちをサポートしていく体制作りに取り組んでいる。この活動を始めて4年目になるが、今後も取り組みを継続したい、みなさまのご協力をお願いしたいと締めくくられました。

### 講演「認知症サポーター養成講座」

（長崎市西浦上・三川地域包括支援センター 福田一子 氏・朝長 優子 氏）

福田氏、朝長氏を迎え、「認知症サポーター養成講座」を実施していただきました。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲でサポートしていく人材であり、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくることを目指していると説明されました。

長崎市における高齢化率は30.9%（H30年3月末）であり、全国的にも高い数値であること、また高齢者の約4人に1人が認知症かその予備軍であることを話し、認知症の種類や症状、脳の働きについても詳しく説明されました。認知症は早期発見・早期診断・早期治療が大事であり、日頃から家族や近隣、友人等周囲との関係づくりが重要であると述べられました。

その後、認知症サポートリーダーの2名が家族劇を披露し、認知症である家族への対応について10グループに分かれて事例検討し、対応方法について各グループが寸劇で発表しました。



認知症の人への対応の心得として3つの「ない」、①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけないことが大事であり、具体的な対応ポイントとしては、まずは見守る、余裕を持って対応する、相手に視線を合わせて優しい口調で、相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する等、これらが重要であると強く述べられました。また、認知症のご本人の思いや願い、介護する家族の気持ちについても説明されました。地域包括支援センターは長崎市内に20箇所あり、高齢者の総合相談窓口として活動していること、権利擁護事業や地域のネットワークづくり、認知症地域支援推進員についても説明されました。最後に、受講者全員に認知症サポーターの証であるオレンジリングを配布し、「今日からみなさんも認知症サポーターです」と締めくくられました。



第2回ケアラーサポーター育成研修には、多くみなさまにご参加いただきました。センタースタッフ一同、心よりお礼申し上げます。アンケートでは「自分とは縁遠い話ではないということを改めて感じました。認知症の人を受け入れ、お互いの尊厳を大切にしていきたいです」「認知症についての正しい知識を持っていなかったのが、今日知ることができて良かったです。グループワークで話し合いながらできたので、理解が深められて良かったです」「将来、祖父母や両親が認知症になった時の対応方法など、知っておかなければならないことを知ることができて良かったです」など、気づきや学びについてのコメントが多くありました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、来年度も引き続きケアラーサポーター育成研修の開催を予定しています。今後ますます介護の課題を抱える人が増加することが現実視されているなか、介護者が孤立することなく介護者も要介護者も共に社会参加ができる環境作りができるよう、地域のみなさまとともに取り組んでまいります。